

北陸圏における真に暮らしやすい接続型都市圏の形成推進調査
第1回調査検討委員会

モデル地区の検討について

参考2-59

検討モデル地区の設定

検討テーマ

接続型都市圏形成

中山間地域安全安心
なくらしモデル地域

子育てしやすく女性に魅了のある
地域づくり

モデル地区
の要件

・人口10万人以上の都市の近接の状況⇒富山～福井間で全国的にも特徴的
・都市の接続は県境を越えて形成
・政令市は含まず特定の大都市の影響が少ない

・豊かな自然を育む反面、雪などの厳しい生活環境を有する北陸の中山間地域において、人口減少、高齢化が進展する中で、地域に暮らす高齢者等が持続的に安全で安心して暮らすことができるための施策を検討
・モデル地区のタイプとしては、都市と農山漁村の近接といった北陸の地域構造を鑑み、以下の2タイプを想定し、該当地域を設定する。

●類似する都市圏規模構造
(中核となる都市人口10万人以上の都市圏で比較)
●女性の就業環境の比較
によりモデル都市圏を設定

モデル圏域
設定

富山～福井間をモデル地域として検討する。

●奥能登地域(近接型)
・地域内で生活圏形成
・過疎地域として課題を内包
・自立的生活圏を形成する主要都市と一体の地域
●魚沼市地域(隔絶型)
・地域周辺の生活機能を共有到達不便
・過疎地域として課題を内包
・自立的生活圏の孤立する可能性
・雪の影響に配慮が必要

⇒女性の就業率の高い都市
【福井市】
⇒人口で同規模の都市
【富山市】

●比較圏域
類似する近接状況にある地域として、以下の地域を比較
<類似する接続都市圏>
・静岡県の東海道新幹線沿線(三島～浜松)
・山口県の山陽新幹線沿線(岩国～下関)
<新幹線開通の伴う影響>
・熊本県、鹿児島県の九州新幹線(新八代～鹿児島中央)
・長野県の長野新幹線(軽井沢～長野)
<新幹線未整備での類似都市圏>
・博多～長崎間の長崎本線
・ルール地方(ドイツ)

参考2-60

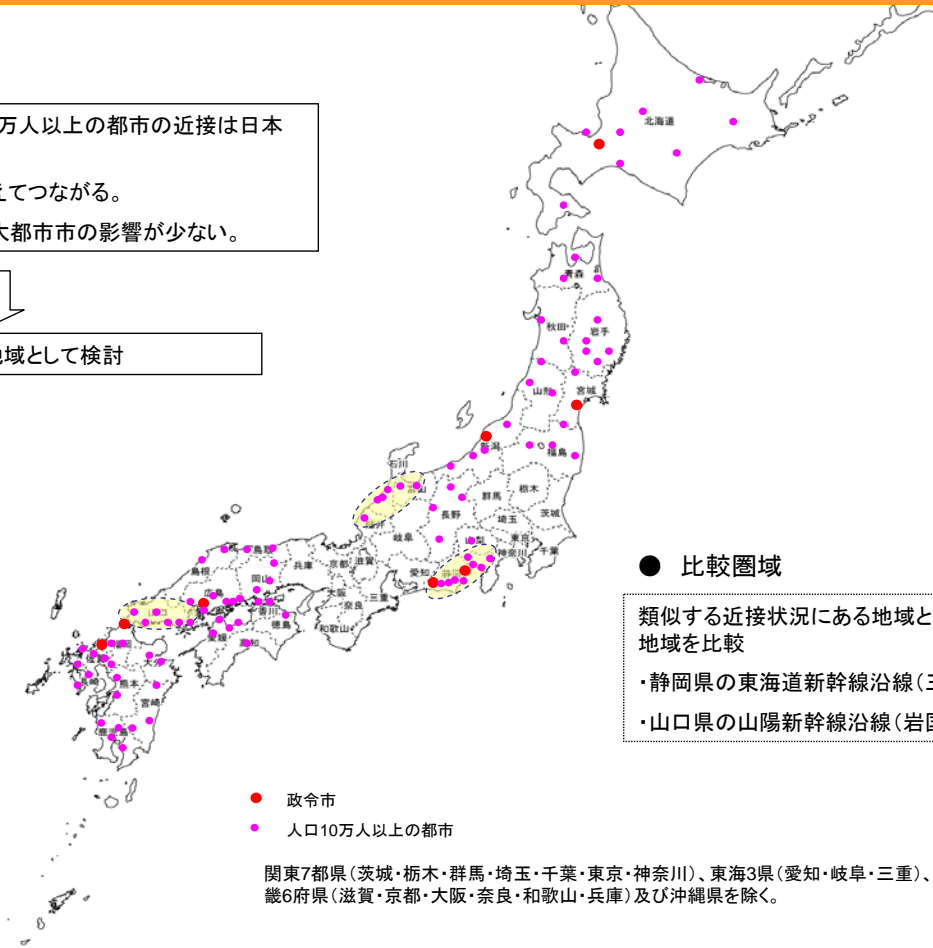
● 北陸の特徴

- ・富山～福井にかけての10万人以上の都市の近接は日本有数(除く三大都市圏)
- ・都市の接続は、県境を超えてつながる。
- ・政令市は含まず、特定の大都市市の影響が少ない。



富山～福井間をモデル地域として検討

参考2-61



● 比較圏域

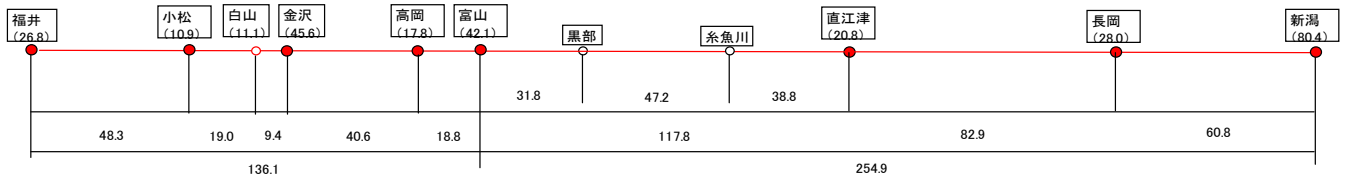
類似する近接状況にある地域として、以下の2地域を比較

- ・静岡県の東海道新幹線沿線(三島～浜松)
- ・山口県の山陽新幹線沿線(岩国～下関)

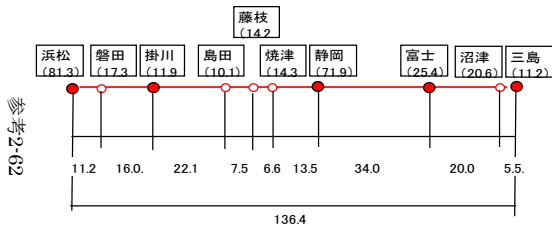
- 政令市
- 人口10万人以上の都市

関東7都県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川)、東海3県(愛知・岐阜・三重)、近畿6府県(滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫)及び沖縄県を除く。

【北陸圏モデル圏域】

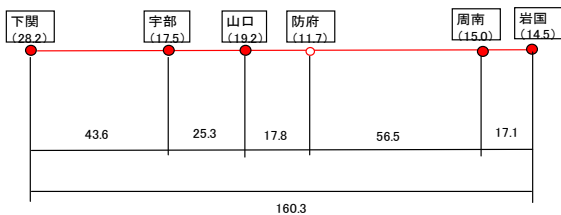


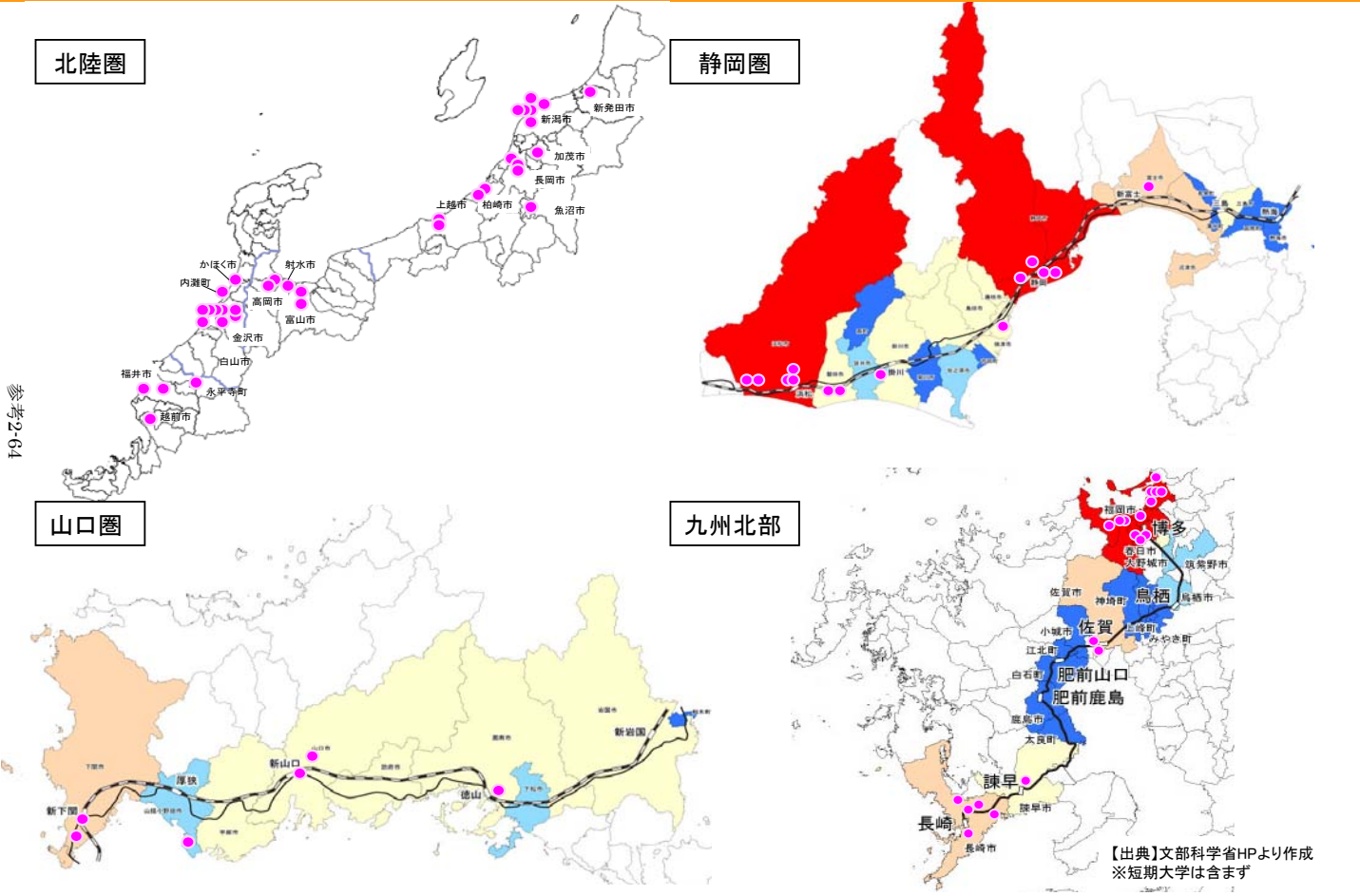
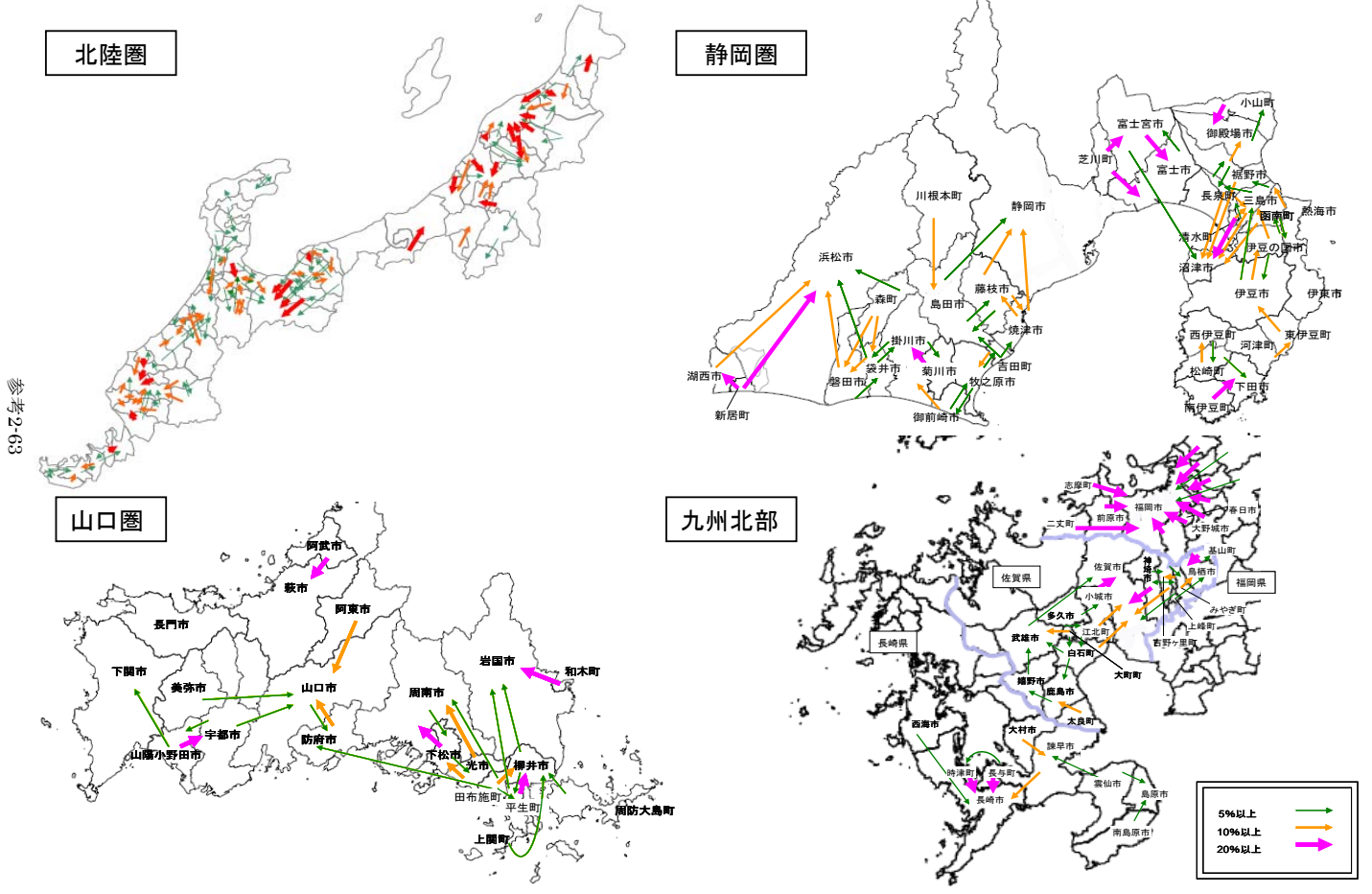
【三島～浜松間新幹線沿線圏域】

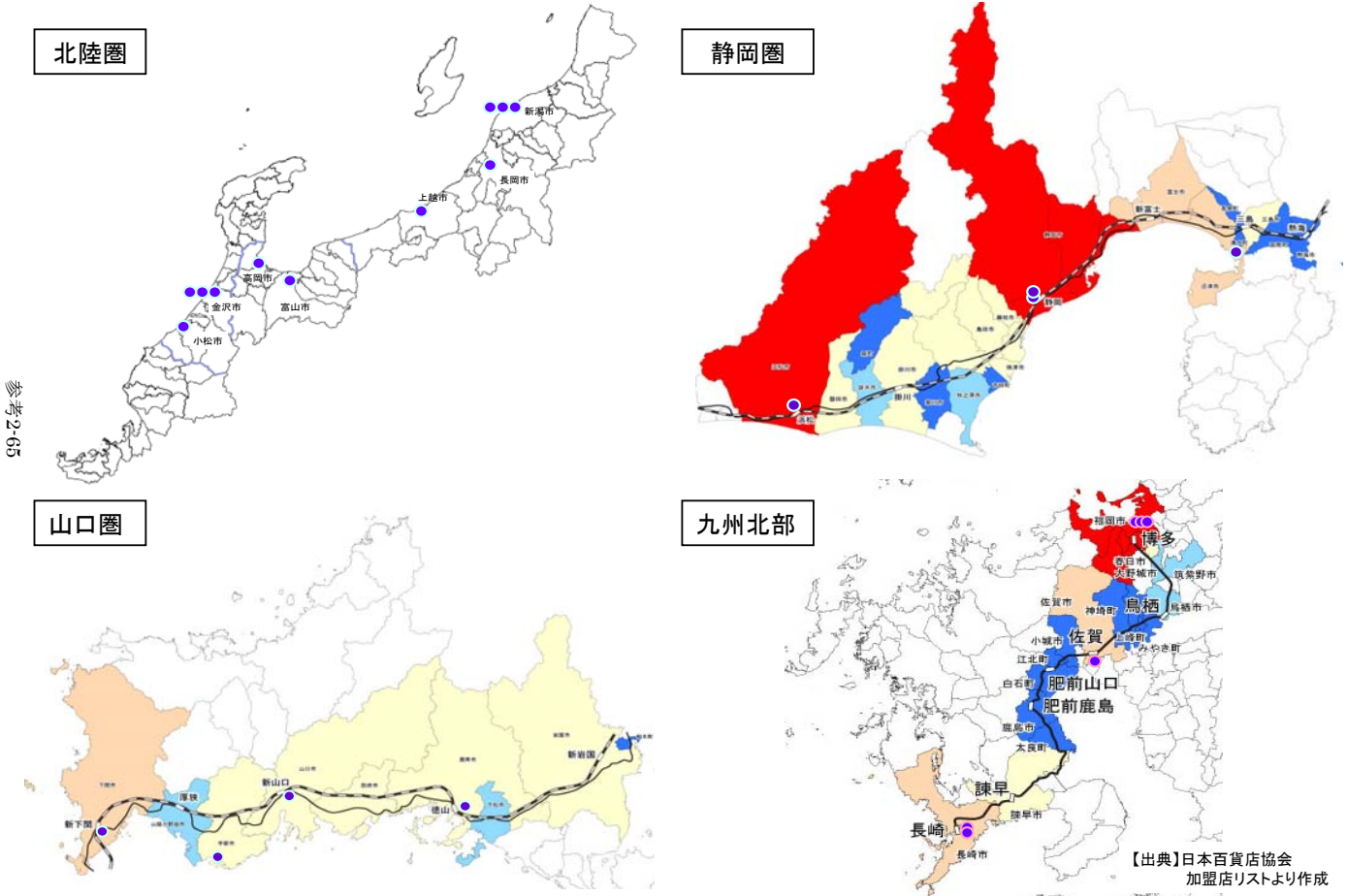


参考2-62

【岩国～下関間新幹線沿線圏域】







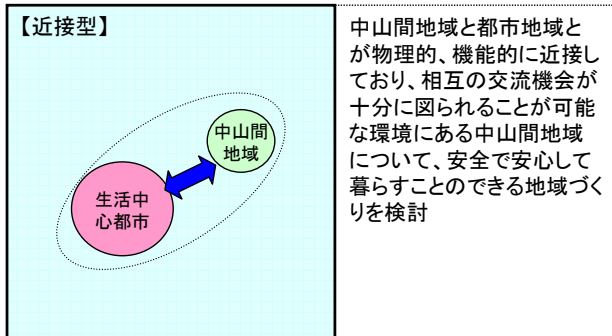
2) 中山間地域において、高齢者が安全、安心して暮らせる地域づくり 検討モデル地区(1)

【基本方針】

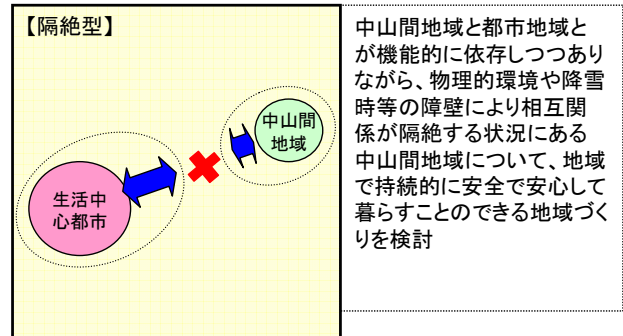
人口減少・高齢化の進む中山間地域にあって、高齢者でも安心して暮らせる生活支援のあり方を構築

- 豊かな自然を育む反面、雪などの厳しい生活環境を有する北陸の中山間地域において、人口減少、高齢化が進展する中で、地域に暮らす高齢者等が持続的に安全で安心して暮らすことができるための施策を検討
- 検討にあたり、中山間地域の実態を的確に把握するため、具体のモデル地区を設定し、即地的な検討を展開
- モデル地区のタイプとしては、都市と農山漁村の近接といった北陸の地域構造を鑑み、以下の2タイプを想定し、該当地域を設定

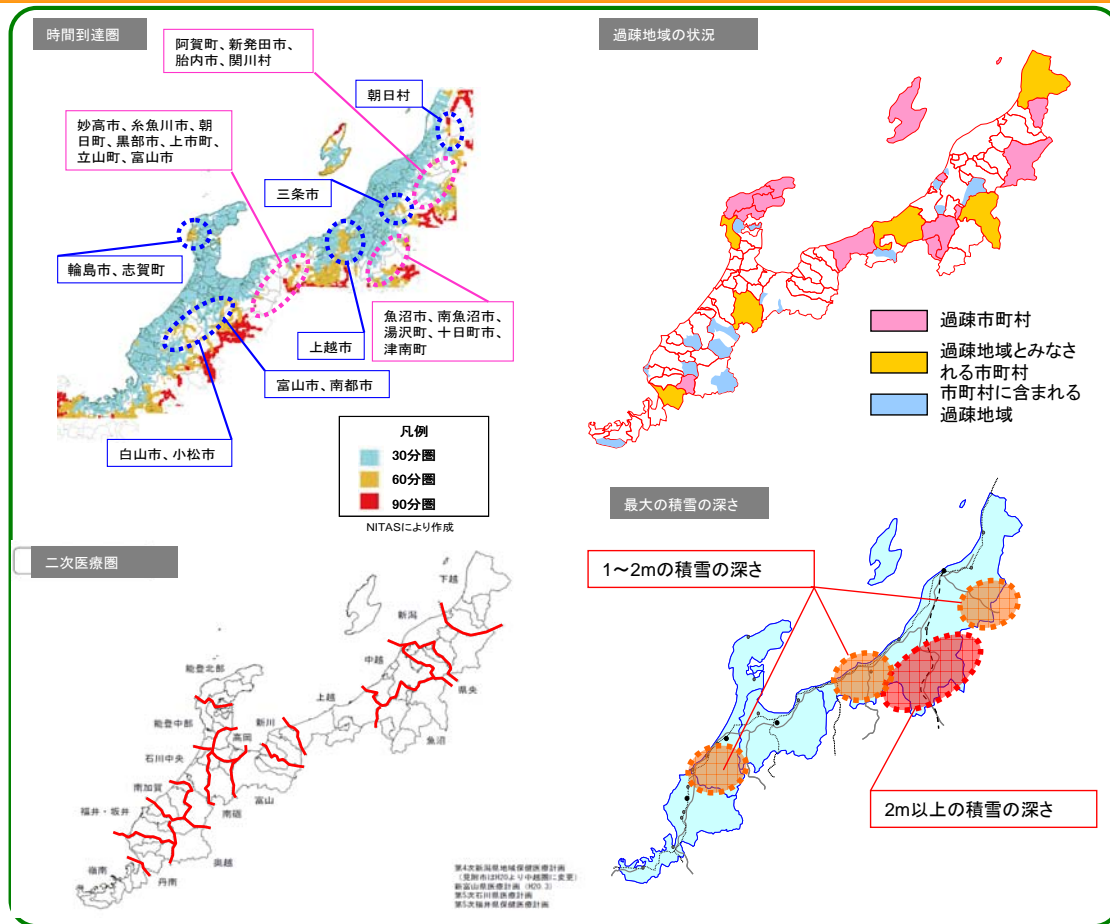
モデルのタイプA



モデルのタイプB



モデル地域を設定



参考2-67

【能登地域】

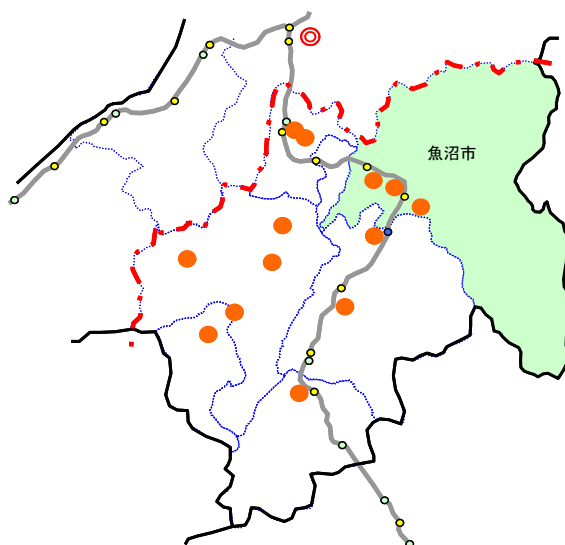
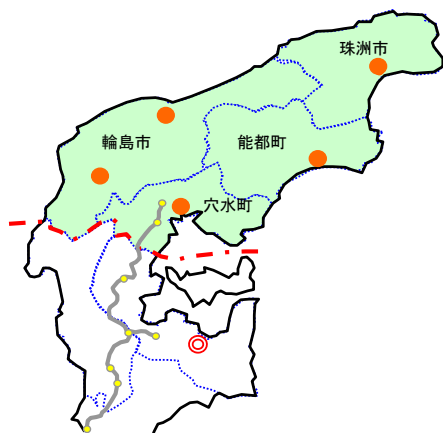
第二次医療施設は、各市町に一箇所以上配置されているが、第三次医療施設は七尾市となり、能登道路が穴水ICまでのため、輪島市、珠洲市及び能登町からのアクセスは不十分である。これらのアクセス困難地域からの十分な動線の確保のため、地域高規格道路の配置などにより、能登道路穴水ICへのアクセス性を高める必要がある。

【魚沼地域】

第二次医療施設は市域西部の地域に集中しており、北東部及び南部では搬送に時間を要する。第三次医療施設は長岡市(長岡赤十字病院)となり、関越自動車道を領することが基本となる。高速道路へのアクセス性が困難な北東及び南部の地域では、対策が必要となる。

○能登地域救急医療施設の配置

○魚沼市地域救急医療施設の配置

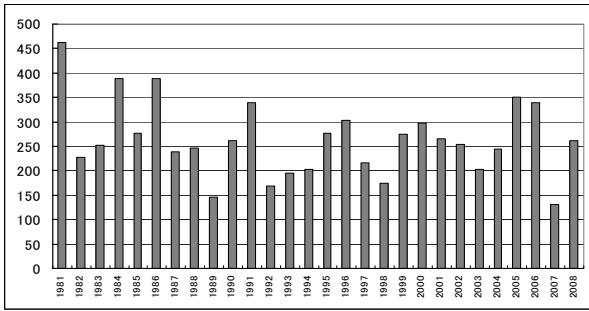


- ◎ 第三次救急医療施設
- 第二次救急医療施設
- - - 第二次医療圏
- 高速自動車道
- インターチェンジ
- SA,PA
- SA,PA(スマートIC)

参考2-68

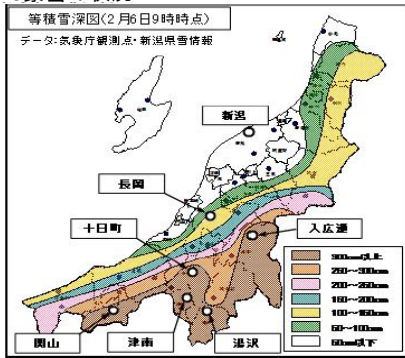
能登地域は半島地域であり日本海に近接した地理的条件から、積雪の深さは輪島市で57Cm程度と比較的少ない。
一方、魚沼地域では、山岳地帯にあって標高も高いことから、降雪の多く、最大の積雪深さは2m以上の積雪がある。

■最大の積雪深さの推移(Cm)



(出典) 気象庁統計資料

■H18豪雪の状況



(出典)「H18豪雪による被害と対応状況」新潟県土木部



(出典)「H18豪雪による被害と対応状況」新潟県土木部

参考2-69

○バス路線の状況(奥能登地域)

能登地域では、のと鉄道の廃止代替路線を含め10系統の路線バスが運行し、半島内を循環している。珠洲～穴水間では約2時間30分の運行時間を要し、乗り継ぎもあるなど、利用に制限がある。
生活の中心を担う都市は、地方生活圏においては、輪島市が生活中心都市となっているが中心的機能の特徴づける動態は顕在化していない。

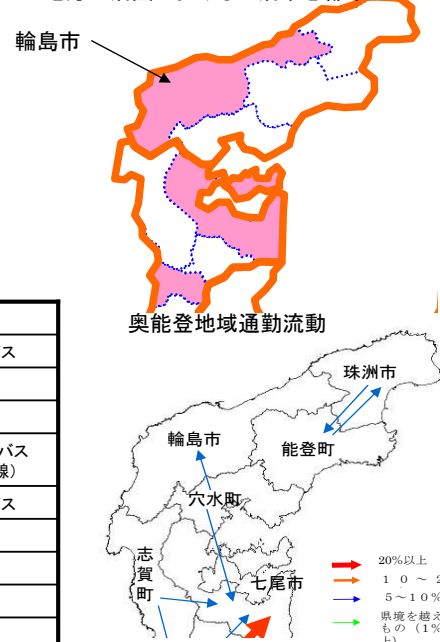
●公共交通網(廃止代替路線含む)



系統	運行区間	備考
1	輪島～宇出津	北鉄奥能登バス
2	曾々木～飯田	〃
3	飯田～木の浦	〃
4	穴水～宇出津～珠洲	のと鉄道代替バス(廃止代替路線)
11	穴水～輪島	北鉄奥能登バス
12	輪島～上山	〃
13	門前～輪島	〃
14	穴水～門前	〃
21	富来～門前	北鉄能登バス
23	(七尾)～能登中島～富来	〃

●生活中心都市

地方生活圏における生活中心都市



参考2-70

○バス路線の状況（魚沼市地域）

魚沼市内の主要部では循環バスの運行がされている。

生活の中心を担う都市は、長岡市となるが、通勤流動はほとんど見られず、隔絶した中山間地域を形成している。

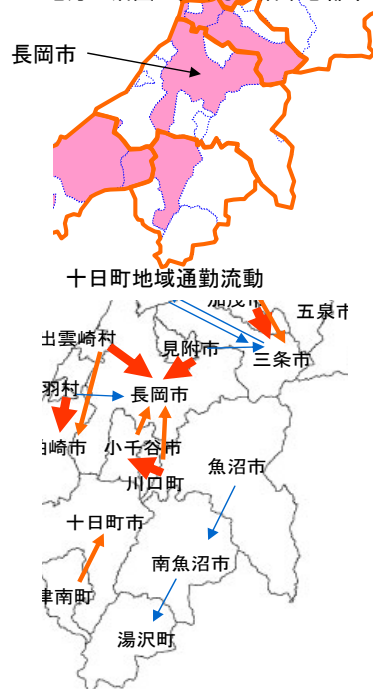
●公共交通網



参考2-71

●生活中心都市

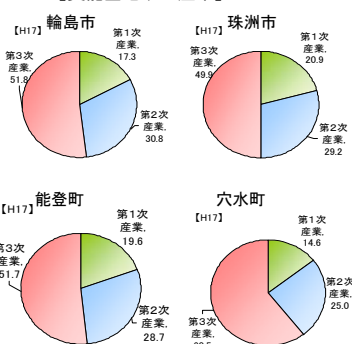
地方生活圏における生活中心都市



奥能登地域、十日町地域共に、第一次産業人口が2割程度あり、農業も重要な産業となっている。一方、北陸4県の野生鳥獣による農作物への被害状況では、近年減少傾向にあるものの、新潟県では平成19年で3億円以上、石川県でも1億円以上の被害となっており、石川県では被害面積、被害額共に増加傾向にある。

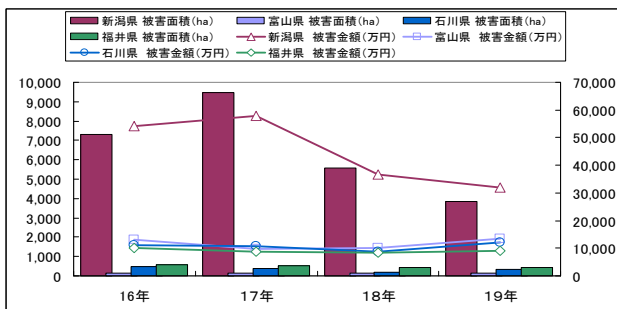
地域の農業実態

【奥能登地域の産業】



参考2-72

野生鳥獣による農作物被害状況



(出典)北陸農政局資料より作成

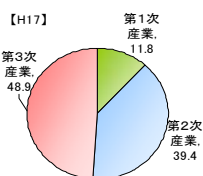
イノシシによる収穫前の稲の被害



(出典)新潟県HP

【魚沼市地域の産業】

魚沼市



(出典)国勢調査(H17)

鳥獣害対策

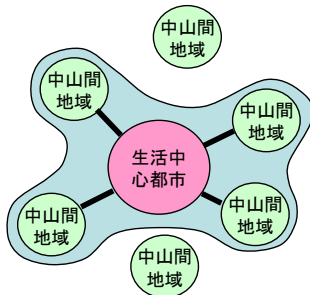
鳥獣被害防止総合対策事業(平成20年12月 農林水産省生産局農業生産支援課鳥獣被害対策室)

(出典)農林水産省HP

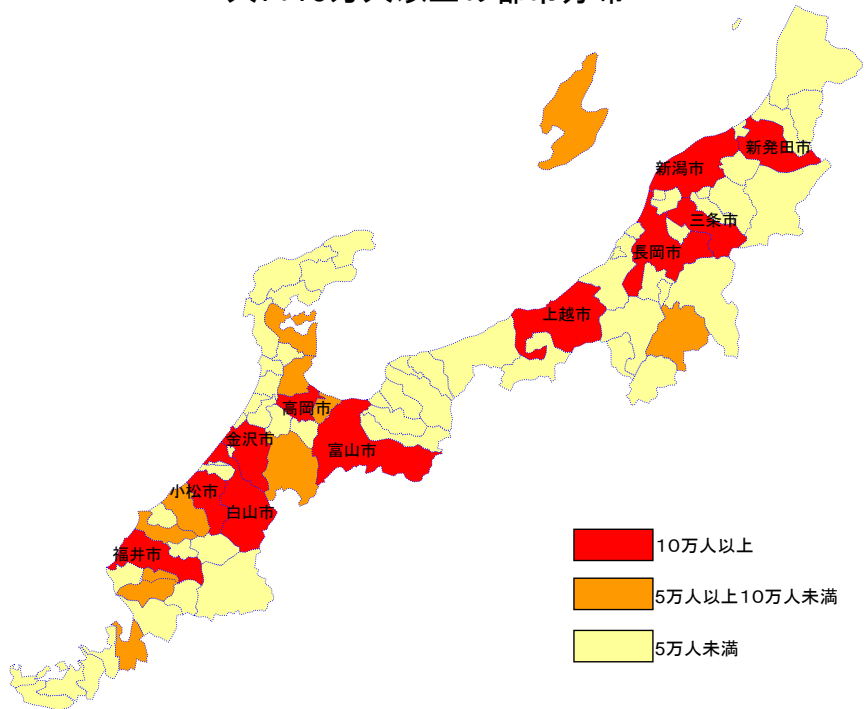
【基本方針】

若年層の定住を視野に、先駆的な取組の進む北陸圏にあって、子育て世代の女性のライフスタイルを捉えたワークライフバランスに優れた生活圏のあり方を構築

【モデル都市圏のイメージ】



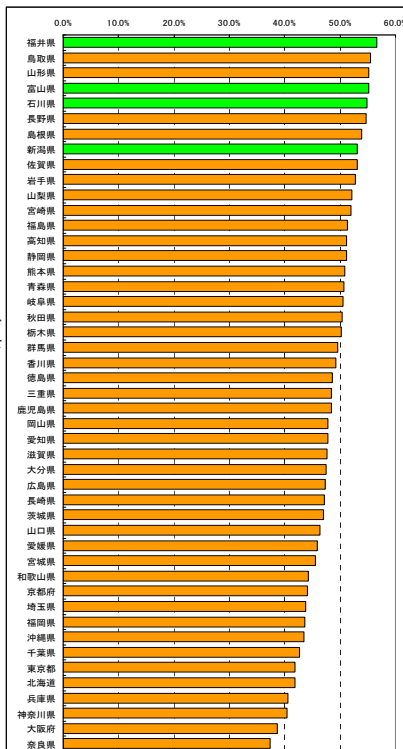
人口10万人以上の都市分布



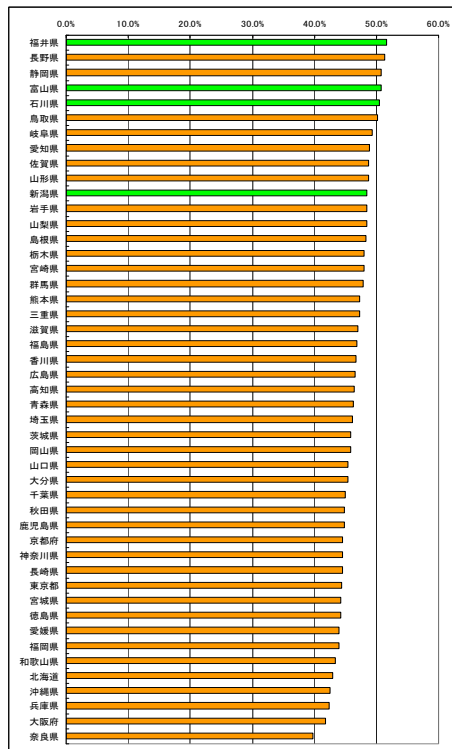
- 類似する都市圏規模構造(中核となる都市人口10万人以上の都市圏で比較)
 - 女性の就業環境の比較
- によりモデル都市圏を設定

●女性の働く環境

全国比較

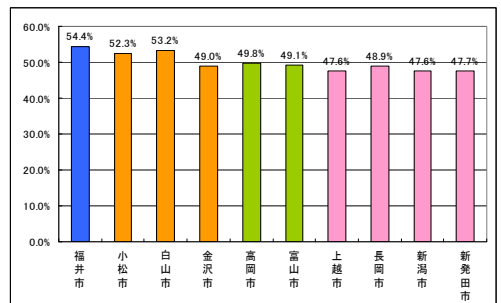


共働き世帯率(全国比較)

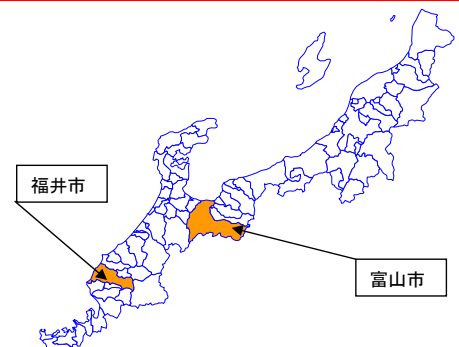


女性の就業率(全国比較)

主要都市の女性の就業率



⇒女性の就業率の高い都市【福井市】
⇒人口で同規模の都市【富山市】
(※地域バランスを考慮)



参考2-73

参考2-74